

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3119782号
(U3119782)

(45) 発行日 平成18年3月9日(2006.3.9)

(24) 登録日 平成18年2月15日(2006.2.15)

(51) Int. Cl. F I
A 6 1 N 1/18 (2006.01) A 6 1 N 1/18
A 6 1 N 1/32 (2006.01) A 6 1 N 1/32

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願2005-10906 (U2005-10906)
 (22) 出願日 平成17年12月22日(2005.12.22)
 (31) 優先権主張番号 200420120536.9
 (32) 優先日 平成16年12月28日(2004.12.28)
 (33) 優先権主張国 中国 (CN)

(73) 実用新案権者 505474005
 蔡 ▲い▼▲てい▼
 台湾 嘉義市世賢路三段227号4F之2
 (74) 代理人 110000419
 特許業務法人太田特許事務所
 (72) 考案者 蔡 ▲い▼▲てい▼
 台湾 嘉義市世賢路三段227号4F之2

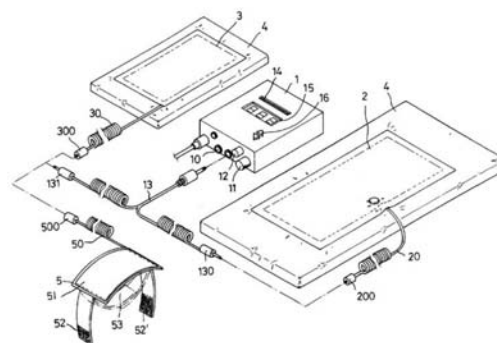
(54) 【考案の名称】 健康美容器具

(57) 【要約】

【課題】 安全的な低圧電流を具えた美容マッサージをする時に便利で、操作が簡単な健康美容器具を提供する。

【解決手段】 本考案は主にエネルギーウエーブ発生器からなり、該エネルギーウエーブ発生器1上には複数の挿接孔10、つまみスイッチ11、調整ボタン12が部に設置され、該挿接孔10にはプラス極コネクタ-130とマイナス極コネクタ-131が端に設置された導電線13が挿接され、電気伝導片2、3はエネルギーウエーブ発生器1と電線20、30によって連結し、該電気伝導片2、3の下方には絶縁パッド4が設置されることによって、セルフ操作により健康なマッサージの効能に到達することが可能となる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

複数の信号資料が内部に設けられてなるマイクロプロセッサ、
該マイクロプロセッサから送られる信号資料をデジタル信号からアナログ信号へと変換する信号発生器、
該信号発生器によって発生させたアナログ信号の過度なノイズを濾すフィルター、
該マイクロプロセッサのコントロールを受け、フィルター後のウエーブモードの周波数を変化させる減衰器、
電圧の大きさを調整する利益アンプ、
該利益アンプの出力端と接続し、信号ドライブのエネルギーを大きくし、さらに端に制限器を設置してなり、出力される電力を安全な範囲内にコントロールするアクチュエーター、
該アクチュエーターと連結し、アナログ信号をデジタル信号に変換し、並びに信号を該マイクロプロセッサ上に回送し、さらに出力端には二つの電気伝導片に連結することができ、一組の電極が設置されてなるテスター、
該アクチュエーター上に連結し、電圧の出力の強さを表示する電圧表示器、
以上のものによってなるエネルギーウエーブ発生器が二つの電気伝導片と接続されることを特徴とする健康美容器具。

【請求項 2】

前記エネルギーウエーブ発生器上には複数の挿接孔、つまみスイッチ、調整ボタンが設置され、
該挿接孔はプラス極とマイナス極のコネクターが端に設置された導電線によって挿接され、
該つまみスイッチは電源スイッチと電流の大きさをコントロールし、
該調整ボタンはマッサージのウエーブの幅の高さや周波数の長さを調整およびコントロールし、
前記電気伝導片はエネルギーウエーブ発生器と電線によって連結し、
該電線の端に設置されてなる挿接端はそれぞれエネルギーウエーブ発生器のプラス極とマイナス極のコネクターの導電線に連結され、
該電気伝導片の下方には絶縁パッドが設置されてなることを特徴とする請求項 1 記載の健康美容器具。

【請求項 3】

前記エネルギーウエーブ発生器が 2 つのうちの一片の電気伝導片に置き換えられてなる導電カバーと接続してなり、
該導電カバーと接続する電線の端には挿接端とエネルギーウエーブ発生器の導電線のうちの 1 つのコネクターと挿接してなり、
該導電カバーの正面には電気伝導片が設置してなり、さらに内回りには手袋部が設けられてなることを特徴とする請求項 2 記載の健康美容器具。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は健康美容器具に関するもので、特にエネルギーウエーブ発生器が二つの電気伝導片と接続されることを特徴とする健康美容器具に係るものである。

【背景技術】

【0002】

公知の電気伝導片はツボ周辺に貼ることによって、低圧電流を人体に導入して、針灸の治療効果に類似する電気療法を施し、また公知の針灸又は電気療法は慢性病の治療を補助をするほかに、痛みや新陳代謝にも作用し、さらには健康美容の運用においても使用される。しかし、公知のツボ電気治療は定まった位置に対して低圧電流によって電撃作用をするため、作用させるツボの位置を変えたい場合は剥がして貼りなおす必要があり、さらに

10

20

30

40

50

は大きな面積の使用が出来ず、位置を移動する時の操作も面倒であり、加えて安全な治療効果を得るためには専門の医師によって施行される必要がある。

【 0 0 0 3 】

また、公知の電気治療器具は電流を人体に導入する時、開始作用時に高電圧を発生させるため、突然感電して利用者を驚かせてしまい、使用者に対して快適なサービス及び適切な療法効果を提供することが出来ない。

【 0 0 0 4 】

一般に健康美容マッサージをする時の伝統的な方法としては、まずマッサージを受ける者は横たわり、美容師（又はマッサージ師）はその側面に（頭部または脚部において）立ってから、美容師が両手によってマッサージを受ける者の身体上においてマッサージ或いは按摩を加える方法がある。按摩の効果をより深くしたい時に美容師（又はマッサージ師）は手に力を入れてマッサージを受ける者の身体上において推す、掴む、捏ねる、抓む、押す、叩く、打つ、揉むなど以上の動作を繰り返すことによって按摩の治療効果にもたらし。このため、美容師（又はマッサージ師）にとっては体力が極端に消費され、且つ長時間の作業の後には、手の関節の疲労を造成し、身体に害をもたらす恐れがあり、さらにはマッサージを受ける者にとっても、按摩の力及び深さが同一でなければ、マッサージを受ける者に対して快適で適切な療法効果を提供することが出来ない。

10

【特許文献 1】特開 2 0 0 5 - 2 6 1 6 6 2 号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

20

【 0 0 0 5 】

公知の構造には以下の欠点があった。

すなわち、定まった位置に対して低圧電流によって電撃作用をするため、作用させる位置を変える場合は貼りなおす必要があり、さらには使用面積が小さく、位置を変える時の操作も面倒であり、加えて安全な治療効果を得るには専門の医師によって施行される必要がある。さらに、公知の電気治療器具は、電流を人体に導入する時、開始作用時に高電圧が生じるため、突然電流を感じた利用者は驚いてしまい、使用者に対して快適なサービス及び適切な療法効果を提供することが出来ない。

本実用新案の目的は、安全的な低圧電流を具えた美容マッサージをする時に便利で、操作が簡単な健康美容器具を提供することである。

30

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 6 】

上記課題を解決するために、本考案は、下記の特徴を有する健康美容器具を提供する。

1. 請求項 1 に記載の健康美容器具は、複数の信号資料が内部に設けられてなるマイクロプロセッサ、該マイクロプロセッサから送られる信号資料をデジタル信号からアナログ信号へと変換する信号発生器、該信号発生器によって発生させたアナログ信号の過度なノイズを濾すフィルター、該マイクロプロセッサのコントロールを受け、フィルター後のウェーブモードの周波数を変化させる減衰器、電圧の大きさを調整する利益アンプ、該利益アンプの出力端と接続し、信号ドライブのエネルギーを大きくし、さらに端に制限器を設置してなり、出力される電力を安全な範囲内にコントロールするアクチュエーター、該アクチュエーターと連結し、アナログ信号をデジタル信号に変換し、並びに信号を該マイクロプロセッサ上に回送し、さらに出力端には二つの電気伝導片に連結することができ、一組の電極が設置されてなるテスター、該アクチュエーター上に連結し、電圧の出力の強さを表示する電圧表示器、以上のものによってなるエネルギーウェーブ発生器が二つの電気伝導片と接続されることを特徴とする。

40

2. 請求項 2 に記載の健康美容器具は、請求項 1 の場合において、前記エネルギーウェーブ発生器上には複数の挿接孔、つまみスイッチ、調整ボタンが設置され、該挿接孔はプラス極とマイナス極のコネクターが端に設置された導電線によって挿接され、該つまみスイッチは電源スイッチと電流の大きさをコントロールし、該調整ボタンはマッサージのウェーブの幅の高さや周波数の長さを調整およびコントロールし、前記

50

電気伝導片はエネルギーウエーブ発生器と電線によって連結し、該電線の端に設置される挿接端はそれぞれエネルギーウエーブ発生器のプラス極とマイナス極のコネクターの導電線に連結され、該電気伝導片の下方には絶縁パッドが設置されてなることを特徴とする。

3. 請求項3に記載の健康美容器具は、請求項2の場合において、前記エネルギーウエーブ発生器が2つのうちの一片の電気伝導片に置き換えられてなる導電カバーと接続してなり、該導電カバーと接続する電線の端には挿接端とエネルギーウエーブ発生器の導電線のうちの1つのコネクターと挿接してなり、該導電カバーの正面には電気伝導片が設置してなり、さらに内回りには手袋部が設けられてなることを特徴とする。

10

【考案の効果】

【0007】

本考案の健康美容器具は、下記の効果がある。

1. 使用操作が簡単で、且つ美容師（又はマッサージ師）が力を使ってマッサージや按摩をしなくとも、健康なマッサージの効能に到達することを可能となる。

2. 安全な低圧電流を利用しているため、使用時の安全性も高く、公知の装置のように一箇所に対して焼けるような、または刺すような痛みをもたらしことがなく、快適なマッサージを提供することが出来る。

3. 本考案はテスターを有しているため、自動に緩やかにウエーブ幅の強さを上げるため、使用者が突然電極に触れることによって生じる驚きを回避できる。

20

4. コントロールスイッチによって電源スイッチ及び電流の大きさをコントロールし、さらに調整ボタンによってマッサージのウエーブの幅の高さや周波数の長さを調整し、コントロールすることで個人の異なるマッサージの強さと深さに対する需要に対応できる。

5. 本考案によってマッサージを行うことによって、細胞が刺激され、活力が増強され、さらに免疫力も高まり、血管拡張を促進することにより血液の循環を改善し、新陳代謝を促進し、さらには体力の消耗を最低限に抑えながらも運動の効果に達することから、健康と美容を促進することができる。また、人体の細胞膜の電位を高めることにより、細胞内外のイオンバランスを正常化し、細胞のエネルギー代謝を増強し遊離基を一掃する。また、血液の循環を促進することにより、末梢血管の血液の酸素含有量を増進し、筋肉の疲労を取り除き、有機体の抵抗力を高める。さらに、人体の新陳代謝率を高め、身体脂肪の代謝効能を増強し、毒素を一掃し、美顔、スキンケア、炎症を取り去って痛みを止める等の効果を得ることができる。

30

【考案を実施するための最良の形態】

【0008】

図1～5に示されるように、本考案は、主にエネルギーウエーブ発生器1からなり、該エネルギーウエーブ発生器1上には数の挿接孔10、つまみスイッチ11、調整ボタン12が設置される。該挿接孔10には端にそれぞれプラス極とマイナス極のコネクター130、131が設置されてなる導電線13が挿接され、該つまみスイッチ11は電源スイッチ及び電流の大きさをコントロールし、該調整ボタン12はマッサージのウエーブの幅の高低を調整し、周波数の長さをコントロールし、さらにエネルギーウエーブ発生器1上には電圧の強さや大きさを表示する電圧表示器14、機能を調整する機能表示器15及び入力選択キーが設置され、二つの電気伝導片2、3はエネルギーウエーブ発生器1と電線20、30によって接続され、該電線20、30の端にはそれぞれ挿接端200、300が設置され、該挿接端200、300にはエネルギーウエーブ発生器1に接続してなる導電線13のプラス極、マイナス極のコネクター130、131が挿接され、且つ電気伝導片2、3の下方には絶縁パッド4が設置される。

40

【0009】

上記エネルギーウエーブ発生器1の導電線13と接続してなる導電カバー5は、エネルギーウエーブ発生器1の導電線13のプラス極のコネクター130（或いはマイナス極のコネクター130）と挿接し、端に挿接端500が設置してなる電線50が延接され、該

50

導電カバー 5 の正面には電気伝導片 5 1 が設置され、さらに導電カバー 5 の背面には対称となるマジックテープ（登録商標）5 2、5 2' と手部を填めることによって直接あんまやマッサージの動作を行うのに便利のように、環型バックルを形成してなる手袋部 5 3 が設置され、さらに導電カバー 5 の内部は絶縁材質によって製造される。

【0010】

図 2 に示されるように、本考案のエネルギーウエーブ発生器 1 の電気回路ブロック図の中のマイクロプロセッサ 1 0 1 は内に設けられた各項の情報を信号発生器 1 0 2 に送り、そして信号発生器 1 0 2 ではデジタル信号をアナログ信号へと変換し、さらにフィルター 1 0 3 によって混雑しているウエーブを除去し、減衰器 1 0 4 はマイクロプロセッサ 1 0 1 のコントロールを受けてフィルター後のウエーブモードを調整して周波数に変換し、信号セレクトスイッチ 1 0 5 は減衰器 1 0 4 と外部信号を入力する所に設置され、電圧の大きさを調整するために、利益アンプ 1 0 6 は減衰器 1 0 4 或いは信号セレクトスイッチ 1 0 5 の後ろに設置され、アクチュエーター 1 0 7 は利益アンプ 1 0 6 の出力端に連結し、信号ドライブのエネルギーを増大させ、出力端に設置されてなる制限器 1 0 7 0 は正温度係数であることができ、電流が大きいほど制限器 1 0 7 0 のインピーダンスに随って増大し、出力された電流を人体が受容できる安全の範囲内にコントロールし、さらにテスター 1 0 8 とアクチュエーター 1 0 6 と連結し、アナログ信号をデジタル信号へと変換し、さらに信号をマイクロプロセッサ 1 上に回送し、且つ出力端に設置された一組の電極出力 1 0 8 0 はマイクロプロセッサ 1 のコントロールを受け、さらに挿接孔 1 0 と連結し、アクチュエーター 1 0 7 上に連続して設置された電圧表示器 1 4 は複数の LED によって構成され、出力された電圧の強さを表示することが出来る。

【0011】

図 1、3 に示されるように、操作を行う時は、まず電気伝導片 2 の電線 2 0 の挿接端 2 0 0 とエネルギーウエーブ発生器 1 の導電線 1 3 のプラス極のコネクター 1 3 0 と挿接し、次に底面に絶縁パッド 4 を接続した電気伝導片 2 の上にマッサージを受ける者の足部を裸足の状態で置き、さらにもう一方の電気伝導片 3 の電線 3 0 の挿接端 3 0 0 はエネルギーウエーブ発生器 1 のマイナス極のコネクター 1 3 1 と挿接し、底面に絶縁パッド 4 を接続した後に床面に置かれる。美容師（或いはマッサージ師）は裸足で電気伝導片 3 を踏み、エネルギーウエーブ発生器 1 に安全に電気が通った後、マイクロプロセッサ 1 0 1 によって外部入力ができるかどうか判断し、もしマイクロプロセッサ 1 0 1 に入力ができなければ、内定された値である電圧や電流、ウエーブモード、周波数等の資料を設定し、逆に入力できるのであれば、直接電極出力が 1 つの回路を形成するかどうか（電極の出力に負荷があるかどうか）を判断する。電極出力が回路を形成しない時には、電極出力を低い電位に保ち、もし電極輸出が使用者が形成する回路と接続すれば、電極出力は数秒遅れてから、徐々に内定された電圧や電流、ウエーブモード、周波数等の資料を上昇させ、使用者が突然電極に触ることによって驚かないようにし、さらに意のままに適当なマッサージのウエーブの幅、周波数の長さを調整することができ、電気伝導の媒質される美容師（或いはマッサージ師）の両手が接触することによってマッサージの效能を提供する。

【0012】

図 4 に示されるように、美容師（マッサージ師）は電気伝導の媒質となり、裸足で電気伝導片 3 を踏む代わりに導電カバー 5 を手に填める。該導電カバー 5 とエネルギーウエーブ発生器 1 の連結は電気伝導片 3 に置換され、さらに、導電カバー 5 の電線 5 0 の挿接端 5 0 0 とエネルギーウエーブ発生器 1 に連結された導電線 1 3 のマイナス極のコネクター 1 3 1 と挿接してなる背面をマジックテープ（登録商標）5 2、5 2' によって粘着固定した導電カバー 5 の電気伝導片 5 1 をマッサージを受ける者の身体部位と接触させることによって、同様にマッサージの機能を提供することができる。

【0013】

図 5 に示されるように、マッサージを受ける者は自分で電気伝導片 2 の上を裸足で踏み、さらに自分の手を導電カバー 5 に填めて身体のマッサージを受けたい部位（頭、顔、首、肩、胸、腹、手、尻、腿等の部位）に接触させるだけでセルフマッサージを行うことが

可能となる。その他に、エネルギーウエーブ発生器 1 は使用者が調整した内定の値に至るまで持続して使用することができ、マイクロプロセッサ 101 に連続して設置された入力選択キー 16 及び機能表示器 15 において必要とする様式を選択し、同じように外部の電気部門に接続し内定値を改正することができる。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図 1】本考案の立体分解図である。

【図 2】本考案のエネルギーウエーブ発生器の電気回路ブロック図である。

【図 3】本考案の使用状態の参考図である。

【図 4】本考案の使用状態の参考図である。

10

【図 5】本考案の使用状態の参考図である。

【符号の説明】

【0015】

1 エネルギーウエーブ発生器

10 挿接孔

101 マイクロプロセッサ

102 信号発生器

103 フィルター

104 減衰器

105 信号セレクトスイッチ

20

106 利益アンプ

107 アクチュエーター

1070 制限器

108 テスター

1080 電極出力

11 つまみスイッチ

12 調整ボタン

13 導電線

130 プラス極コネクター

131 マイナス極コネクター

30

14 電圧表示器

15 機能表示器

16 入力選択キー

2 電気伝導片

20 電線

200 挿接端

3 電気伝導片

30 電線

300 挿接端

4 絶縁パッド

40

5 導電カバー

50 電線

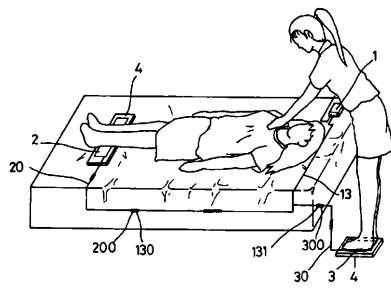
500 挿接端

51 電気伝導片

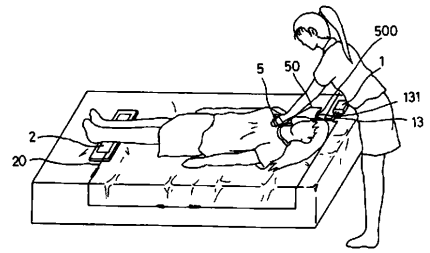
52、52' マジックテープ（登録商標）

53 手袋部

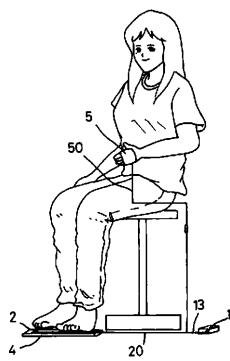
【 図 3 】



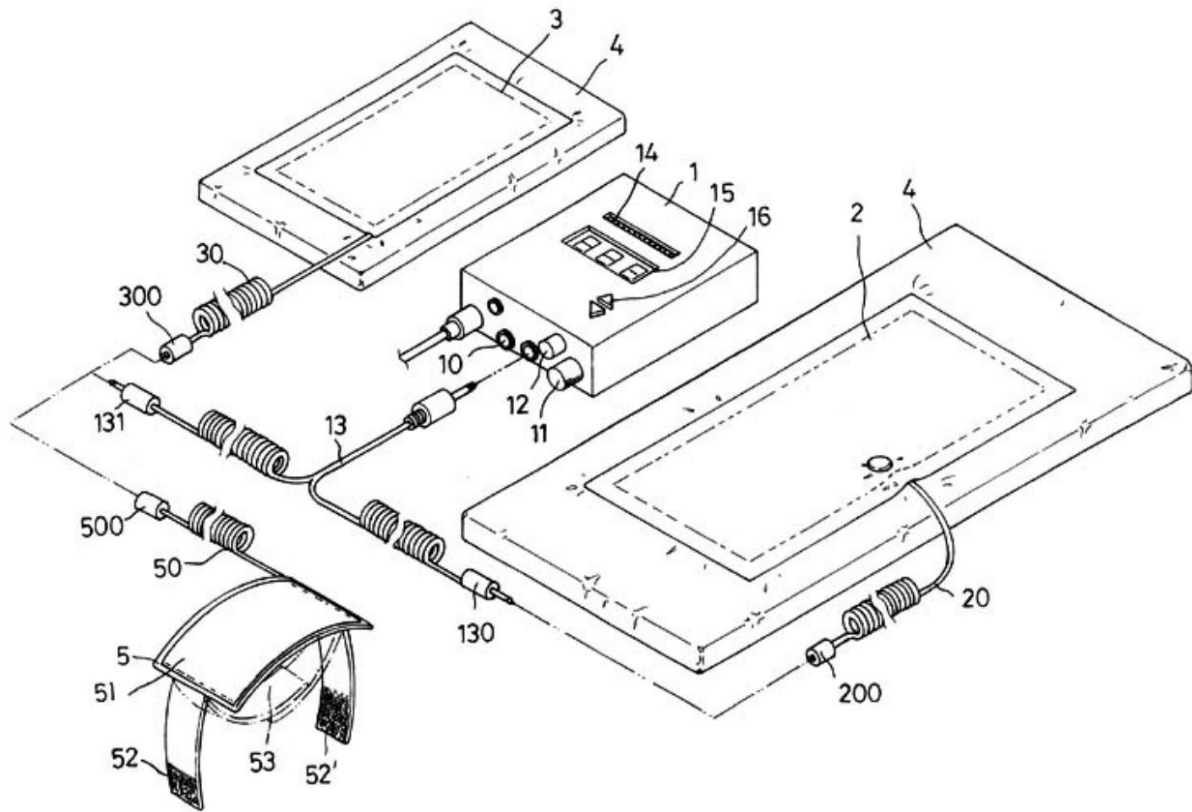
【 図 4 】



【 図 5 】



【図 1】



【図 2】

